

2022 年度 学校関係者評価会議議事録

【開催日時】 2022 年 6 月 13 日 (月) 16:30~17:45

【開催場所】 スポーツ健康医療専門学校 202 教室

【参加者】

学外評価委員 (敬称略)

| | |
|-------|--------------------------|
| 石井 一夫 | 千葉県立千葉商業高等学校 千葉大宮高等学校元校長 |
| 原 吾郎 | 合同会社 史 (ふみ) |
| 高見 令央 | 元武道大学学長 |
| 泉澤 勝 | いずみさわ整骨院院長、卒業生 |

学内委員

| | |
|----------|-----------|
| 委員長 桑原 淳 | (学校長) |
| 木原 和彦 | (教務部長) |
| 森澤 隆弘 | (柔整科学科長) |
| 松澤 孝司 | (鍼灸科学科長) |
| 淵ノ上 真太郎 | (柔整科副学科長) |
| 高野 弘仁 | (鍼灸科試験担当) |
| 最上 忠 | (柔整科主任) |
| 菊地 寿太郎 | (企画開発部) |
| 書記 菊地 滋幸 | (事務次長) |

【欠席者】

森澤 隆弘

1. 開会 本日の予定、趣旨説明

(木原) 本会の趣旨説明を行う。

2. 校長挨拶

本日はお集り頂きありがとうございます。当校は4月から学校名が変わりました。

本日は2021年度の振り返りという形で実施致します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 委員及び事務局紹介

(木原) 本会出席者の紹介を行う。

4. 2021 年度学校自己点検報告説明

(木原) 本部会開催の趣旨説明

基準1から基準10の項目について各担当者より説明し、学外評価委員との質疑応答を行う。

■基準1・2 教育理念・目的・育成人材像・学校運営

(桑原) 資料をもとに、教育理念、目標、組織について説明する。

(木原) 重点目標について2020年度と2021年度を比較。

■基準3 教育活動

■基準4 教育成果

■基準5 学生支援

(松澤・高野・渕ノ上) 基準3～5について、各科より資料をもとに実績と課題を説明する。

■基準6 教育環境

■基準7 学生の募集と受入れ

■基準8 財務

■基準9 法令等の遵守

■基準10 社会貢献・地域貢献

(菊地滋、菊地寿、林) 基準の6. 7. 8. 9. 10について資料をもとに説明する。

5.6. 7 質疑応答と評価、高評

(鈴木正) 国家資格について両学科で情報交換はしているのか。

(松澤) 情報交換、連携はしているが、傾向が異なっている。

(高見) 退学者についてはどうなのか。

(松澤) 退学率は他校と比べると少ない方である。

(石井) 入学者の状況について、昔は入学するのが大変だったが、今は誰でも入学できる状況である。

募集に苦労していないかどうか。

(菊地寿) はり、きゅう、柔整の希望者は全体で約2000人。地域と連携をしながらネットワークを広げている。

(泉澤) 中途退学者の対策、就職者への対策について

(桑原) 中途退学者に対して、経済的事情による退学者が多い、面談を継続的に行い状況把握、援助制度の提案をする。就職支援については進路ガイダンスを実施。

(鈴木正) 国家試験を落ちた場合、内定はどうなるのか。

(松澤) 企業によるが内定はそのままのところが多い。

(石井) 林先生のトレーナー活動は学生募集に有効である。トレーナー活動を継続してほしい。

(桑原) ありがとうございます。

(原) WEBコンテンツを上手く利用して学校をアピールするのが良いかと思う。

(桑原) SNSを活用しているが、まだまだ活用しきれていない。今後うまく活用していきたい。

(高見) ATの資格は効果的である。うまく活用してほしい。

(桑原) 今後活用していきたい。

(桑原) 様々な貴重なご意見ありがとうございます。

学園が20年経ち、校名も変わった。多くの卒業生を輩出した。学園では様々なコンテンツを提供し卒業生が戻ってこれる環境を整えていきたい。

8. 閉会